



岩手を守り、日本を変える。



「岩手県連 2022年 定期大会 開催」

立憲民主党岩手県総支部連合会の定期大会が4月9日、盛岡市内で開催された。

大会には、党本部より水岡俊一参議院議員会長が出席したほか、来賓として達増拓也知事、連合岩手の佐々木秀市会長、共産党・社民党・国民民主党の各代表が顔をそろえ、県内各地から代議員とあわせおよそ150人が参加した。

冒頭あいさつに立った横沢県連代表は「参院選挙に向けて何としても力を結集し、勝利しなければならない」と述べ、今年最大の政治決戦である夏の参議院選挙で、党公認の現職木戸口英司参議院議員の必勝態勢の構築を呼びかけた。

また、達増知事は「岩手を守り、日本を変える一歩となるよう期待する」と述べた。

大会では、令和4年度の活動方針案や夏の参議院議員選挙での勝利に向けて不退転の決意で戦い抜くとする決議案などが承認された。特に、東日本大震災津波の教訓を生かす政策提言や、原発事故に伴う放射能汚染水の処理問題、いわゆるゆALPS処理水の海洋放出には断固反対する姿勢や、コロナ禍にあつて新自由主義の政策からの一刻も早い政治転換を進める活動方針が盛り込まれた。

大会の最後にあいさつに立った木戸口英司参議院議員は、自民党政権の腐敗や地方軽視の政策をあらためて批判。

「岩手を守り日本を変える仕事にもう一度あたらせてほしい」と参院選での勝利に向けて強く支持を訴えた。

参院選公示まであと**69日** (予定)

